中部電力パワーグリッド

ブラックスタート機能募集要綱
（２０３１年度向け）

２０２６年１１月１９日

中部電力パワーグリッド株式会社

目　　次

はじめに 1
１．適用 4
２．用語の定義 4
３．スケジュール 7
４．募集容量 7
５．ブラックスタート機能の提供期間 9
６．入札の条件 9
７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額 14
８．落札案件の決定 17
９．主な契約条件 17
１０．応札方法 21
１１．ブラックスタート機能契約の締結 23

別冊　ブラックスタート機能契約書【標準契約書】

ブラックスタート機能募集要綱

中部電力パワーグリッド株式会社（以下「当社」といいます。）は，当社の電力系統において広範囲に及ぶ停電等が発生した場合でも，外部電源より発電された電気を受電することなく，停電解消のための発電を行うことができる，復旧に必要な電源等（以下「ブラックスタート機能」といいます。）を，ブラックスタート機能募集要綱（以下「募集要綱」といいます。）にもとづいて，入札により募集いたします。

はじめに

（１）一般注意事項

・募集要綱にもとづき入札書を提出される事業者（以下「応札者」といいます。）は，入札書を作成する際には，募集要綱に記載の作成方法に準拠して，入札書に不備や遺漏等がないよう十分注意してください。また，審査過程において効率的な審査ができるように，読みやすく分かりやすいものを作成してください。

・応札者は，募集要綱に定める諸条件および「別冊 ブラックスタート機能契約書【標準契約書】」（以下「ブラックスタート機能契約書」といい，これにもとづく契約を「ブラックスタート機能契約」といいます。）の内容をすべて承認のうえ，当社に入札書を提出してください。

・ブラックスタート機能契約は，すべて日本法に従って解釈され，法律上の効力が与えられるものといたします。

・応札者が入札書に記載する会社名には，正式名称を使用してください。

・応札者は適格請求書発行事業者の登録が必要となります。

・応札者は，ジョイント・ベンチャー等のグループで入札をすることも可能ですが，グループ各社が日本国において法人格を有するものといたします。グループで入札する場合には，入札書において参加事業者すべての会社名および所在地を「（様式２）応札者の概要」により明らかにするとともに，当社の窓口となる代表事業者を明示してください。この場合は，代表事業者を含むすべての参加事業者が連帯してプロジェクトの全責任を負うものといたします。

・以下のいずれかに該当する関係にある複数の者が，応札を希望する場合は，原則として，そのうち一のみによる応札またはジョイント・ベンチャー等としての応札としてください。なお，個別に応札する場合は，入札書（様式１）の「１２．資本関係または人的関係等のあるものとの事前調整等の有無」の記載をお願いいたします。

※この募集要綱は，独占禁止法に違反する談合行為を容認するものではありません。独占禁止法に触れるような行為のないように，応札者はご注意ください。

ア 資本関係

（ア）会社法第２条第４号の２に規定する親会社等と会社法第２条第３号の２に規定する子会社等の関係にある場合

（イ）親会社等を同じくする子会社等同士の関係にある場合

イ 人的関係

（ア）一方の会社等の役員（会社法施行規則第２条第３項第３号に規定する役員のうち，次に掲げる者をいいます。以下同じ。）が，他方の会社等の役員を現に兼ねている場合

ａ 株式会社の取締役。ただし，次に掲げる者を除きます。

・ 会社法第２条第１１号の２に規定する監査等委員会設置会社における監査等委員である取締役

・ 会社法第２条第１２号に規定する指名委員会等設置会社における取締役

・ 会社法第２条第１５号に規定する社外取締役

・ 会社法第３４８条第１項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている取締役

ｂ 会社法第４０２条に規定する指名委員会等設置会社の執行役

ｃ 会社法第５７５条第１項に規定する持分会社（合名会社，合資会社または合同会社をいいます。）の社員（同法第５９０条第１項に規定する定款に別段の定めがある場合により業務を執行しないこととされている社員を除きます。）

ｄ 組合の理事

ｅ その他業務を執行する者であって，ａからｄまでに掲げる者に準ずる者

（イ）一方の会社等の役員が，他方の会社等の民事再生法第６４条第２項または会社更生法第６７条第１項の規定により選任された管財人（以下単に「管財人」といいます。）を現に兼ねている場合

（ウ）一方の会社等の管財人が，他方の会社等の管財人を現に兼ねている場合

ウ その他，上記アまたはイと同視しうる関係

・募集要綱にもとづき評価した結果，当社がブラックスタート機能契約を締結することを決定した応札者（以下「落札者」といい，当社とブラックスタート機能契約を締結した落札者を「契約者」といいます。）が第三者と合併，会社分割またはブラックスタート機能契約に関係のある部分を第三者へ譲渡するときは，あらかじめ当社の承認を受けるものといたします。なお，ブラックスタート機能契約承継の詳細な取扱いについては，

ブラックスタート機能契約書を参照してください。

・入札に係る諸費用，入札書作成に要する費用，ブラックスタート機能契約に係る協議に要する費用等，応札者側で発生する諸費用につきましては，すべて応札者負担となります。

・入札書は日本語で作成してください。また，入札書で使用する通貨については円貨を使用してください。添付する書類等もすべて日本文が正式なものとなります。レターや証明書等で原文が外国語である場合は，必ず原文を提出するとともにその和訳を正式な書面として提出してください。

・入札書提出後は，入札書の内容を変更することはできません。ページの差替え，補足説明資料の追加等も認められません。

（２）守秘義務

・応札者および当社は，入札を通じて知り得た相手方の機密を第三者に漏らしてはならず，また自己の役員または従業員が相手方の機密を漏らさないようにしなければなりません。ただし，当社は電気事業法および関連法令にもとづく監督官庁からの情報提供要請等への対応のため，必要最小限の範囲で監督官庁へ入札情報の一部を提供いたします。

（３）問合せ先

・募集要綱の内容に関するご質問は，下記の当社ホームページ問合せ専用フォームより受け付けます。必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）については確定値ではないものの，参考値としてお答えいたします。なお，審査状況等に関する問合せにはお答えできません。

当社ホームページ問合せ専用フォームＵＲＬ：
https://powergrid.chuden.co.jp/anteikyokyu/choseiryoku/cho_kobo/cho_info/

１．適用

この募集要綱は，当社が２０３１年度に活用するブラックスタート機能の入札に適用いたします。

２．用語の定義

（１）契約電源等（全系統）

当社電力系統において広範囲におよぶ停電が発生した場合，一連の復旧を行ううえで必要な機能を具備する設備で発電事業者等が所有する設備※をいいます。

※ 技術検討の結果として，各発電所の必要ユニット数について当社より通知いたします。

（２）契約電源等（一部系統）

「４．募集容量（２）一部系統ブラックスタート ウ 対象系統」に定める対象系統の停電時および上位系統の作業による単独系統時に，一連の復旧および対象系統の単独運転を行ううえで必要な機能を具備する設備で発電事業者等が所有する設備をいいます。

（３）契約電源等

契約電源等（全系統）および契約電源等（一部系統）を総称したものをいいます。

（４）全系統ブラックスタート

当社電力系統において広範囲におよぶ停電が発生した場合，非常用発電機等を使用し，外部電源より発電された電気を受電することなく試送電機能を具備する契約電源等（全系統）の起動・発電を行い，系統の周波数と電圧を適正な範囲に維持し，復旧に必要な規模の発電所等の所内電力を供給することをいいます。

（５）一部系統ブラックスタート

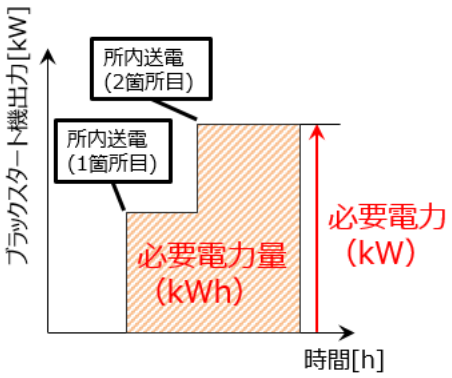
「４．募集容量（２）一部系統ブラックスタート ウ 対象系統」に定める対象系統の停電時および上位系統の作業による単独系統時において，非常用発電機等を使用し，外部電源より発電された電気を受電することなく契約電源等（一部系統）の起動・発電を行い，系統の周波数と電圧を適正な範囲に維持し，当該系統に対して需要に応じた電力供給を行うことをいいます。

（６）必要電力（ｋＷ）・必要電力量（ｋＷｈ）

必要電力（ｋＷ）とは，一般負荷（安定負荷※を除きます。）を送電開始するまでに必要な電力の最大値をいいます。

必要電力量（ｋＷｈ）とは，契約電源等の起動から一般負荷（安定負荷を除きます。）を送電開始するまでに，火力発電所等の所内負荷等へ送電するために必要な電力量の合計（積分した面積）をいいます。

※ 安定負荷とは，系統復旧に必要な火力発電所等の所内電源を供給しても，契約電源等の最低出力に満たない場合に，安定運転のために送電する一般需要のことをいいます。



必要電力（ｋＷ）・必要電力量（ｋＷｈ）は募集系統（後述の「東系統」「西系統」）ごとに設定するものとし，技術検討結果を通知する際に個別に通知いたします。

（７）非常用発電機等

試送電機能を具備する発電機を起動するために必要な電力または動力を供給することができるエンジン発電機，圧油用水車，水車発電機，バッテリー等の装置をいいます。

（８）ガバナフリー運転機能

発電機の回転速度を負荷の変動の如何にかかわらず，一定の回転速度を保つように，動力である蒸気または水量を自動的に調整する装置である調速機（ガバナ）により，系統周波数の変化に追随して出力を増減させる運転を行う機能をいいます。

（９）電圧調整機能

一定の発電機端子電圧を保つように励磁電圧を自動的に調整する装置（ＡＶＲ装置等）により，ブラックスタートからの系統復旧の過程で，負荷の変動が発生しても適正な電圧を維持できる機能をいいます。

（10）試送電機能

停止状態にある電線路を低電圧で充電した後，徐々に運転電圧まで上昇させる機能をいいます。

(11) 専用線オンライン指令

当社がブラックスタートを行うため，中央給電指令所から，通信伝送ルートを通じて，直接的にブラックスタート機能を具備した契約電源等へ発電等を指令することをいいます。

(12) 発電機自己励磁現象

無負荷送電線などを充電した場合，充電電流により発電機端子電圧が過上昇する現象をいいます。

(13) インラッシュ過電流

変圧器充電時に発生する励磁突入電流（インラッシュ電流）が過剰に流れることをいいます。

(14) 不平衡電流

三相交流送電において，全ての相の電流が同じ大きさではない状態をいいます。

(15) リレー

短絡などの設備故障時に生じる電力系統異常を検知する装置をいいます。

(16) トリップ

発電機や電力系統の異常をリレーにより検出した場合，リレーにより遮断器を開放して異常設備を電力系統から切り離すことをいいます。

３．スケジュール

２０３１年度向けの募集および契約協議は，次のスケジュールで実施いたします。

日程	ステップ
２０２６年9月９日(水)	入札募集実施および募集要綱案の公表
２０２６年９月９日(水) ～１０月８日(木)	募集要綱案に対する意見募集（ＲＦＣ：Request for Comments）の受付
２０２６年１０月９日(金) ～１１月１８日(水)	意見内容の確認・検討，募集要綱の確定
２０２６年１１月１９日(木)	入札募集の開始
２０２７年5月２０日(木)	入札募集の締切
２０２７年5月２１日(金) ～6月２１日(月)	落札案件の選定
２０２７年6月２２日(火)	落札案件の決定
２０２７年6月２３日(水) ～8月４日(水)	落札者とのブラックスタート機能契約に係る協議・締結
（２０２７年〔未定〕）	（容量市場メインオークション開始）
（２０２７年〔未定〕）	（容量市場の約定電源等決定）
（２０３１年〔3月頃〕）	契約者との基本料金に係る覚書の締結

・上記スケジュールは，必要に応じて変更する場合があります。その場合は，速やかにお知らせいたします。
・基本料金に係る覚書の締結時には，当該時点で想定される期待利潤および期待利潤の減少分を再算定していただく必要があります。具体的には,「９．主な契約条件」（２）に定めるとおりです。

４．募集容量

入札単位および募集規模は，次のとおりとし，全系統ブラックスタート，一部系統ブラックスタートのいずれか一方のみの入札も可能といたします。

募集規模を上回る応募があった場合の落札案件の決定方法は,「８．落札案件の決定」によります。

なお，対象系統の募集を終了する場合には，募集の終了を決定した時点（系統対策工事計画の立案等）以降、募集要綱へ最終公募年度を記載すること等により通知させていただきます。

（１）全系統ブラックスタート

ア　入札単位

ブラックスタート機能を提供するのに必要な範囲（※）を入札単位といたします。

なお，入札書は，入札単位ごとに「６．入札の条件（１）契約電源等の機能」に定める各機能を具備するユニットを提出様式に従い記入のうえ提出してください。

※ 技術検討の結果として，各発電所の必要ユニット数について当社より通知いたします。

イ　募集規模

「ウ　対象系統」に定める対象系統において，各１発電所を募集いたします。

ウ　対象系統

対象系統は次のとおりです。（系統の区分けの概略については別紙に示しますが，入札を予定している発電所がどちらの対象系統に供給が可能であるかについては当社にお問い合わせください。）ブラックアウトからの復旧にあたり，現状と同等の復旧時間を確保するためには，まず，東系統は伊勢湾東側の発電所，西系統は伊勢湾西側の発電所の所内電源に，それぞれ電力を供給する必要があり，東西に系統を分割して公募しております。

（ア）東系統

（イ）西系統

入札していただく発電所の必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）については，技術検討結果として，対象系統ごとの値を別途通知いたします。なお，通知に当たっては，発電所個々の状況を勘案のうえ，通知要否を検討いたします。

系統状況の大きな変更等により，必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）が通知した内容から変更となる場合があります。その場合は，変更後の数値を速やかに通知いたします。

（２）一部系統ブラックスタート

ア　入札単位

ブラックスタート機能を提供するのに必要な範囲を入札単位といたします。

なお，入札書は，入札単位ごとに「６．入札の条件（１）契約電源等の機能」に定める各機能を具備するユニットを提出様式に従い記入のうえ提出してください。

イ　募集規模

系統末端から１回線受電地域の停電時におけるブラックスタートおよび上位系統作業による単独系統時における単独運転を対象としており，それらの影響も限定的であることから，「ウ 対象系統」に定める対象系統において，各１発電所を募集いたします。

ウ　対象系統

対象系統は次のとおりです。（入札を予定している発電所が対象系統に供給可能であるかについては当社にお問い合わせください。）

（ア）戸台変Ｄ１Ｂ

（イ）志久見川第一変Ｄ１Ｂ

（ウ）中房第五変Ｄ１Ｂ

（エ）朝日変Ｄ１Ｂ・Ｄ２Ｂ

５．ブラックスタート機能の提供期間

ブラックスタート機能の提供期間（以下「提供期間」といいます。）は，２０３１年４月１日（火）から２０３２年３月３１日（水）までの１年間といたします。

入札していただく発電所は，提供期間の開始までにブラックスタート機能の提供に必要となる工事や試験等が完了し，「６．入札の条件（１）契約電源等の機能」に定める機能・設備を具備していることが必要です。また，入札していただく発電所がブラックスタート機能を提供するために当社が管轄する設備の工事が必要な場合，提供期間の開始までに当該工事や試験が完了していることが必要です。（当社が管轄する設備の工事の要否と工事に要する期間は「６.入札の条件（５）ブラックスタート機能についての技術検討」に定める項目について検討したうえで当社が判断いたします。）

６．入札の条件

次の「（１）契約電源等の機能」,「（２）契約電源等の運用」,「（３）技術的信頼性」,「（４）当社の電力系統に連系することについての技術検討」 および「（５）ブラックスタート機能についての技術検討」に記載の要件を満たすことが必要です。

それらの要件を満たしていないと当社が判断した場合，その入札は無効といたします。

（１）契約電源等の機能

ア　全系統ブラックスタート

入札していただく発電所は，提供期間の開始までにブラックスタート機能の提供に必要となる工事や試験等が完了し，以下のすべての機能・設備を具備していることが必要です。各機能の詳細については，別途協議を行うことといたします。

（ア）非常用発電機等

（イ）ガバナフリー運転機能

（ウ）電圧調整機能

（エ）試送電機能

（オ）専用線オンライン指令の信号送信機能

以下の信号を送信する機能を具備していることが必要です。なお，通信回線は情報セキュリティ対策として電力制御システムに適用する「電力制御システムセキュリティガイドライン」（改定の際には速やかに最新版を参照および最新版に準拠いただくものといたします。）に準拠したものとしていただく必要があります。

送信信号：現在出力

（カ）起動機能

当社からの指令で起動が可能であること。

（キ）予備機の確保等（技術検討の結果，必要となる場合）

ブラックアウトからの復旧にあたり，ブラックスタート機能を具備するユニットや共用送電線等の設備が一部停止（Ｎ－１）しても，現状の信頼度（復旧時間）を確保するために，予備機の確保等をしていただく場合があります。

イ　一部系統ブラックスタート

入札していただく発電所は以下のすべての機能・設備を具備していることが必要です。各機能の詳細については，別途協議を行うこととといたします。

（ア）非常用発電機等

（イ）ガバナフリー運転機能

（ウ）電圧調整機能

（２）契約電源等の運用

ア　全系統ブラックスタート

（ア）ブラックスタート機能の維持

・ブラックスタート機能については，あらかじめ定める補修停止等の期間を除き，常時，使用可能な状態であることが必要です。

・必要電力量（ｋＷｈ）は提供期間を通じて，常時確保いただく必要があるため，当該確保部分については他用途活用（卸電力取引所への供出等）することはできません。なお，必要電力（ｋＷ）については，他用途活用が可能ですが，あらかじめ定める補修停止等の期間を除き，常時，使用可能な状態であることが必要です。

・需給ひっ迫時には，必要電力量（ｋＷｈ）の一部を緊急時の一般送配電事業者の運用として使用する場合があります。具体的な運用方法については，別途，当社と協議のうえ，申合等を締結していただきます。

（イ）定期点検，補修停止期間調整の応諾

・定期点検，補修作業等による計画停止を予定している場合，他発電所等の作業との重複等を避けるため，必要に応じて期間の調整をさせていただく場合があります。その場合，特別な事情がない限り調整に応じていただきます。

（ウ）復旧作業訓練（年間１回実施）

・当社が実施する，当社電力系統における広範囲におよぶ停電を想定した復旧作業訓練に参加していただきます。

・復旧作業訓練を実施しない年度は，非常用発電機等の起動試験を実施し，その結果を報告していただきます。

（エ）不具合発生時の復旧対応

・不具合の発生時には，速やかに当社へ連絡のうえ，遅滞なく復旧できるよう努めていただきます。

イ　一部系統ブラックスタート

（ア）ブラックスタート機能の維持

・ブラックスタート機能については，あらかじめ定める補修停止等の期間を除き，常時，使用可能な状態であることが必要です。

（イ）補修停止期間調整の応諾

・補修停止等の期間については，必要に応じて期間の調整をさせていただく場合があります。

（ウ）復旧作業訓練（年間１回実施）

・当社が実施する復旧作業訓練に参加していただきます。

・復旧作業訓練を実施しない年度は，非常用発電機等の起動試験を実施し，その結果を報告していただきます。

（エ）不具合発生時の復旧対応

・不具合の発生時には，速やかに当社へ連絡のうえ，遅滞なく復旧できるよう努めていただきます。

（３）技術的信頼性（全系統ブラックスタート，一部系統ブラックスタート）

・応札者が発電実績を有すること，または発電実績を有する者の技術的支援等により，ブラックスタート機能の提供を継続的に行ううえでの技術的信頼性が確保されていることが必要です。

・（１）および（２）で定める要件を満たしていることを確認するために，当社から以下の対応を求めた場合は，その求めに応じていただきます。

a　試験成績書の写し等，発電機の性能を証明する書類等の提出。

b　現地調査および現地試験。

c　その他当社が必要と考える対応。

（４）当社の電力系統に連系することについての技術検討（全系統ブラックスタート，一部系統ブラックスタート）

・入札していただく発電所は，入札時点で当社の電力系統に連系することについての技術検討が完了していることが必要です。

（５）ブラックスタート機能についての技術検討（全系統ブラックスタート，一部系統ブラックスタート）

・応札者は，入札時点までに，ブラックスタート機能についての技術検討を完了することが必要です。

・技術検討に必要なデータを不備なくご提出いただいた場合，標準検討期間は６カ月程度です。

・なお，過去に技術検討が完了しているブラックスタート機能については，系統状況の大きな変更や発電設備等の変更がない限り，再度の検討は不要となります。ただし，今後の国や電力広域的運営推進機関（以下「広域機関」といいます。）の審議会における議論等を踏まえ，信頼度や復旧時間に係る考え方の見直しが必要となった等の場合は，追加の技術検討を実施する場合がございます。

・技術検討の結果，入札していただく発電所がブラックスタート機能を提供するために当社が管轄する設備の工事が必要と判断された場合，当該工事費用の全部または一部を負担※1していただくことが必要です。

・技術検討は，当社が管轄する設備の工事により，発電所がブラックスタート機能の提供ができる全ての可能性を検討するものではなく，明らかに多額の費用や長期の工事期間を要する大規模工事※2の発生が見込まれる場合については，具体的な検討は行わずブラックスタート機能の提供不可としてご回答することがあります。

※１ 費用負担の範囲については，工事目的・内容，当該工事により得られる効果等を勘案のうえ協議により決定いたします。

※２　例）変電所の新設，送電線・鉄塔の新設　等

・以下の項目について技術検討が必要です。

a　発電機自己励磁現象

・無負荷送電線などを充電した場合，充電電流により発電機端子電圧が過上昇しないことを評価いたします。

b 定常状態での過電圧

・無負荷送電線からの充電電流による定常的な電圧上昇を評価いたします。

c インラッシュ過電流

・変圧器充電時に発生する励磁突入電流（インラッシュ電流）を評価いたします。

d 過渡過電圧

・インラッシュ電流に多く含まれる第二高調波と，系統固有の共振周波数が一致する場合に発生する共振性過電圧の有無を評価いたします。

e 不平衡電流

・インラッシュ電流に伴い発生する不平衡電流により，リレー動作トリップが発生しないことを評価いたします。

f 系統事故時のリレー動作可否

・ブラックスタート初期は系統容量が小さいため，事故電流も小さくなることから，系統事故時にリレーが正常に動作できるか評価いたします。

g ブラックスタート機能の安定負荷供給方法

・ブラックスタート機能が安定運転できる出力となるまでの負荷供給ルート，手順，時間を検討いたします。

h 対策および復旧手順の検討

・上記ａ～ｇの検討項目での評価・検討結果を踏まえ，設備絶縁破壊やリレー動作トリップなど復旧の支障となる事象の回避対策や復旧手順を検討いたします。

i 発電能力（発電機容量・連続運転可否等）の確認

・上記ｈで検討した復旧手順に応じてブラックスタート機能に求められる発電能力を確認いたします。

j 必要な機能・スペックの調整，確認

・ブラックスタート機能を提供いただくうえで，発電機に求められる機能，スペック，その他当社が必要と判断したものについて調整，確認いたします。

※上記 a～j の検討項目での評価・検討結果を踏まえ，技術検討の結果として，必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）および必要ユニット数について別途通知します。

７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額

入札価格，逸失利益相当額および最低保証額は，以下のとおりといたします。

なお，「入札書（様式 1)」に「逸失利益相当額（期待利潤の減少分，容量市場からの想定期待利潤の減少分)」および「最低保証額」を記載いただきます。

（１）入札価格

契約電源等を維持するために要する年間費用（適正利潤を含みます。また、対象系統における募集の終了が公表されている場合には、ブラックスタート機能・設備のうち、募集終了以降も発生する費用を含みます。）から，応札者が当該契約電源等の活用により想定している期待利潤および，容量市場からの想定期待利潤（容量市場への応札の有無を問いません。）を控除した値（円）としていただきます。

なお，期待利潤からは「必要電力（ｋW)・必要電力量（ｋＷｈ）の確保に伴い，卸電力市場への投入等ができないことによる期待利潤の逸失分」（以下「期待利潤の減少分」といいます。）を，容量市場からの想定期待利潤からは「必要電力（ｋW)・必要電力量（ｋＷｈ）の確保に伴い，容量市場への投入等ができないことによる期待利潤の逸失分」（以下「容量市場からの想定期待利潤の減少分」といいます。）を，それぞれ減じていただきます。具体的には，以下の算定式のとおり入札価格を算定するものといたします。

入札価格 ＝ 契約電源等を維持するために要する年間費用※1
－（期待利潤※2 － 期待利潤の減少分）
－（容量市場からの想定期待利潤※3 － 容量市場からの想定期待利潤の減少分）

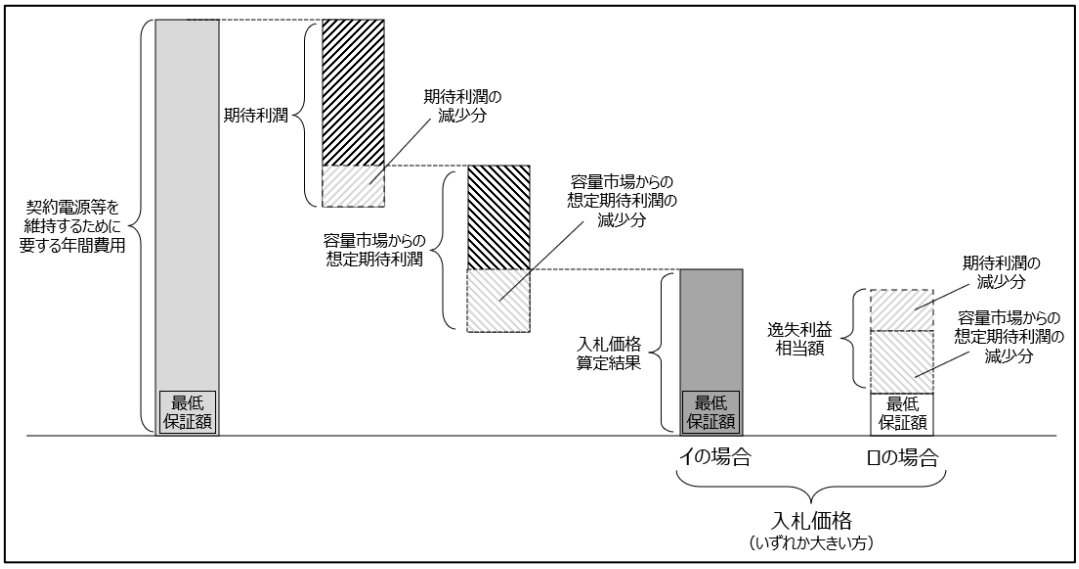
容量市場からの想定期待利潤
＝ 想定期待容量※4,5 × ２０２６年度容量市場メインオークションの指標価格（Net CONE：２０，９１１円/ｋW）

上記算定結果と逸失利益相当額および最低保証額の合計との大小関係から，入札価格は以下のとおりといたします。

イ　逸失利益相当額＋最低保証額≦入札価格算定結果
算定結果を入札価格といたします。

ロ　逸失利益相当額＋最低保証額＞入札価格算定結果
逸失利益相当額と最低保証額の合計を入札価格といたします。

入札価格の算定（参考図）



※１　ブラックスタート機能を提供するために当社が管轄する設備の工事が必要な場合，当該工事費用のうち応札者が負担する費用は年間費用に算入可能といたします。

※２ 期待利潤は必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）を控除する前の値（円）としていただきます。

※３ 容量市場からの想定期待利潤は必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）を控除する前の値（円）としていただきます。

※４ 広域機関が公表する「容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度：２０３０年度）」（以下「２０３０年度容量市場要綱」といいます。）に規定する「期待容量」の算定方法に準じて算定した値（なお，※３を算出した値とする）とし，入札書「１０．想定期待容量」に記載いただいた数値とします。なお，「９．主な契約条件」（２）の算定で用いる期待容量と異なる場合があります。

※５ 一方，容量市場に入札する際には，ブラックスタート電源として落札した発電所が純揚水式の場合，必要電力量（ｋＷｈ）を制約として考慮した上で，期待容量を算出して容量市場に入札する必要があります。

（２）逸失利益相当額

ブラックスタート機能公募に入札することによって発生する逸失利益相当額をいいます。具体的には，次の a, b, c を用いた金額とし，「7. 入札価格，逸失利益相当額および最低保証額」(1)においてはａおよびｂ，「9. 主な契約条件」(2)においてはａおよびｃの合計金額を指すものとします。

ａ．期待利潤の減少分

必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）の確保に伴い，卸電力市場への投入等ができないことによる期待利潤の逸失分※

※　契約電源等が揚水発電所であり，契約電源と非契約電源にて上池を共有している場合，期待利潤の減少分は，契約電源および非契約電源にて発生する期待利潤の減少分の合計といたします。

ｂ．容量市場からの想定期待利潤の減少分

必要電力（ｋＷ）・必要電力量（ｋＷｈ）の確保に伴う容量市場における想定期待利潤の逸失分※

※　契約電源等が揚水発電所で，契約電源と非契約電源にて上池を共有している場合，容量市場からの想定期待利潤の減少分は，契約電源および非契約電源にて発生する容量市場からの想定期待利潤の減少分の合計といたします。

ｃ．容量市場から支払われる対価相当額の減少分

必要電力（ｋＷ）・必要電力量（ｋＷｈ）の確保に伴う容量市場から支払われる対価相当額の逸失分※

※　契約電源等が揚水発電所で，契約電源と非契約電源にて上池を共有している場合，容量市場から支払われる対価相当額の減少分は，契約電源および非契約電源にて発生する容量市場から支払われる対価相当額の減少分の合計といたします。

（３）最低保証額

契約電源等を維持するために要する年間費用（適正利潤を含みます。）のうち，ブラックスタート機能を維持するために追加的に発生する非常用発電機に係る費用，訓練費等の年間費用（適正利潤を含みます。）の金額としていただきます。

（４）消費税等相当額

・外税方式によりお支払いいたしますので，入札価格，逸失利益相当額および最低保証額に算入しないでください。

（５）事業税相当額

・事業税相当額の取扱いについては，次のａ，ｂを選択のうえ，「応札者の概要（様式２）」で提示していただきます。

ａ．収入割を含む場合，料金支払い時に事業税相当額（収入割に相当する金額に限る。）を加算いたしますので，当該事業税相当額は入札価格，逸失利益相当額および最低保証額に算入しないでください。

ｂ．収入割を含まない場合，料金支払い時に事業税相当額の加算はいたしませんので，それを踏まえた入札価格，逸失利益相当額および最低保証額としてください。

※ 応札時に選択した事業税相当額の取扱いは，原則変更できませんので，あらかじめ税務当局へ確認する等，慎重な対応をお願いいたします。

※ 税制改正等の外的要因により応札者に適用される課税方式が見直された場合等は，事業税相当額の取扱いを別途協議により決定させていただくことがあります。

８．落札案件の決定

（１）落札案件の決定

・応札案件が「６．入札の条件」を満たすかを，当社との間で実施した「６．入札の条件」に定める技術検討の結果（完了の有無を含みます。），および提出書類（必要に応じて当社が求めた追加資料も含みます。）の内容にもとづき確認いたします。なお，「６．入札の条件」の内，「（２）契約電源等の運用」については，当該事項に応じることを前提に入札いただいたものと見做します。

・「６．入札の条件」を満たす案件の応募が，募集規模を上回る場合は，入札価格が安価なものから落札案件を決定いたします。

（２）落札案件決定後の手続き

・落札案件決定後，すべての応札者に結果をお知らせいたします。

・落札者は，２０２７年８月４日（水）までに，当社と協議のうえ，ブラックスタート機能契約を締結していただきます

・また，落札者は，当社が実施する精査のため，入札時に算定された期待利潤および期待利潤の減少分に係る必要な諸元を，当社が別途指定する提出様式に従い提出していただきます。

９．主な契約条件

主な契約条件は以下のとおりといたします。

（１）契約期間

・契約期間は，ブラックスタート機能契約締結の日から当該契約にもとづくすべての債務の履行が完了した日までといたします。

（２）料金

ａ．以下の算定式により算出した金額を基本料金としてお支払いいたします。
なお，容量市場から支払われる対価相当金額は，２０３１年度向け容量市場の応札有無および落札有無を問わず控除するものといたします。

基本料金＝契約電源等を維持するために要する年間費用

－（期待利潤 － 期待利潤の減少分）※1

－（容量市場から支払われる対価相当額※2,3－容量市場から支払われる対価相当額の減少分）

容量市場から支払われる対価相当金額
＝ 期待容量※4 × 約定価格※5

上記算定結果と逸失利益相当額（期待利潤の減少分＋容量市場から支払われる対価相当額の減少分。以下，本号において同じ。）および最低保証額の合計との大小関係から，基本料金は以下のとおりといたします。

イ　逸失利益相当額＋最低保証額≦基本料金算定結果

基本料金算定結果を基本料金といたします。

ロ　逸失利益相当額＋最低保証額＞基本料金算定結果

逸失利益相当額と最低保証額の合計を基本料金といたします。

基本料金に係る覚書の締結に向けて，期待利潤および期待利潤の減少分について再算定いただき，入札時に算定された当該価格との比較により精査※6したうえ，基本料金を決定するものといたします。

なお，基本料金に係る覚書の締結時に算定される基本料金は，入札時の期待利潤および期待利潤の減少分を用いて算定される基本料金を原則，上回らないものといたします。

ただし，以下の条件をいずれも満たす場合は，増額を認めるものとします。

（ⅰ）基本料金の増額が，入札以降に発生した法令・制度の変更，または契約電源等の活用にかかる市場の価格変動のいずれかにより生じたものであること。

（ⅱ）前号の法令・制度の変更または市場の価格変動が，応札者に責のないものであり，かつ他の応札者にも等しく影響を及ぼすものであること。

（ⅲ）再算定の基礎となる期待利潤および期待利潤の減少分等の算出において，合理的かつ客観的に妥当であると認められる根拠および資料が提出されること。

（ⅳ）再算定の結果，算出された基本料金が合理的かつ客観的に妥当であると，当社が認めること。

上記再算定については，以下スケジュールにてご対応いただきます。ただし，以下スケジュールについては，必要に応じて変更する場合があります。その場合は，速やかにお知らせいたします。

２０３０年１２月２日（月）～２０３０年１２月２７日（金）
期待利潤および期待利潤の減少分再算定実施および算定結果の提出

２０３１年1月６日（月）～２０３１年2月２８日（金）
再算定結果の確認，協議

２０３１年3月３日（月）～２０３１年3月３１日（月）
基本料金に係る覚書の締結

※１　監督官庁によるブラックスタート機能公募調達結果の事後確認に伴い，期

待利潤の再計算が必要となる場合があります。

※２ 容量市場から支払われる対価相当額は必要電力（ｋW）・必要電力量（ｋＷｈ）を控除する前の値（円）といたします。

※３ 容量市場から支払われる対価相当額は，２０３１年度向け容量市場の応札有無および落札有無を問わず控除するものといたします。

※４ 広域機関が公表する「容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度：２０３１年度)」（以下「２０３１年度容量市場要綱」といいます。）に規定する「期待容量」の算定方法に準じて算定した値（なお，※２を算出した値とする）とします。なお，合理的な理由がある場合を除き，「７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額」(1)の想定期待容量を下回らないものとします。

※５ ２０３１年度容量市場要綱に規定する「約定価格」の決定方法により決定された値とします。

※６ 落札案件決定時および基本料金算定時において，当社が別途指定する提出様式に従い，必要な諸元を提出していただきます。

注）上記の基本料金算定式は，現時点で広域機関が公表している２０３０年度容量市場要綱の規定を前提としております。今後，国の各審議会，容量市場要綱に関する意見募集等を踏まえて，規定内容が変更となった場合は，変更後の内容に従って算出するものといたします。また，※４について，発電所の一部ユニットを入札し，容量市場要綱に規定する算定方法に準じて算定することが困難であると当社が判断した場合，別途，応札者と協議のうえ，合理的な値を算定するものとします。

ｂ．上記により決定した基本料金を１２で除した金額を，各料金算定期間（毎月１日から当該月末日まで）の翌月末（当該日が金融機関の休業日の場合はその直前の休業日ではない日）までにお支払いいたします。なお，端数は３月分料金で調整いたします。

ｃ．ブラックスタートおよび単独運転による電力供給に係る料金（従量料金）については，別途協議により定めるものといたします。

ｄ．消費税等相当額は，外税方式によりお支払いいたします。

ｅ．事業税相当額は，収入割を含む場合，料金支払い時に事業税相当額（収入割に相当する金額に限る。）を加算いたしますので，収入割を含む・収入割を含まない，いずれに該当するか，「応札者の概要（様式２）」で提示していただきます。

（３）契約解除

・ブラックスタート機能契約の当事者は，相手方がブラックスタート機能契約に定める義務を履行しない場合は，相手方に対し，書面によりその履行を催告し，催告後１０日を経過しても当該義務が履行されないときは，ブラックスタート機能契約

を解除できるものといたします。

・ブラックスタート機能契約の当事者は，自己の責めに帰すべき事由によりブラックスタート機能契約を解除された場合，相手方に生ずる損害を賠償するものといたします。

・契約の解除条件および賠償の詳細等は，ブラックスタート機能契約書を参照してください。

（４）契約者の自己都合による解約または解除に伴う費用負担

・契約者の都合によって契約を解約または解除することとなった場合は，（３）にかかわらず，当社は，代替手段を確保するために要した費用の実費の負担を契約者に求めることができるものとし，契約者は，これに応じていただきます。

（５）必要電力（ｋＷ）または必要電力量（ｋＷｈ）の変更

・必要電力（ｋＷ）もしくは必要電力量（ｋＷｈ）が変更となったとき，変更後の必要電力（ｋＷ）もしくは必要電力量（ｋＷｈ）にて基本料金の再算定の実施について協議するものといたします。

・　必要電力（ｋＷ）もしくは必要電力量（ｋＷｈ）が増加し，容量市場からの部分退出が必要となることに伴い，容量市場におけるペナルティ金額が発生する場合には，当該費用の負担について協議するものといたします。

１０．応札方法

応札者は，入札書を募集期間内に２部（本書１部・写し１部）提出してください。

（１）入札書の提出

ア　提出書類　「(様式１）入札申込書」および添付書類（(２）入札書への添付書類）を提出ください。

イ　提出方法: 提出書類は部単位にまとめ，一式を持参または郵送により提出してください。当社は受領証を発行いたします。持参者は本人の印鑑（認印で可）をお持ちください。

提出書類は，返却しませんので，あらかじめ了承願います。

【注】原則，持参していただくことといたしますが，昨今の社会情勢も踏まえ，郵送の提出も可能といたします。なお，郵送でご提出いただく際は，ウを宛先とし，詳細は後述「(３）　郵送で応札する場合の留意事項」をご確認ください。
また，提出書類を電子データで提出することは認められませんが，提出書類の記載内容を補足するための追加資料等については，事前に当社に相談いただき，当社が認めた場合に限り，電子データでの提出も可能といたします。

ウ　提出場所：愛知県名古屋市東区東新町１番地
中部電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター　広域運営グループ
「ブラックスタート募集」係

エ　募集期間：２０２６年１１月１９日（木）～２０２７年5月２０日（木）

・受付時間は，土・日・祝日を除く平日の午前１０時～午前１２時および午後１時～午後４時とさせていただきます。

・提出手続を円滑に進めるため，お手数をお掛けいたしますが，ご提出の際には事前に当社までご連絡をお願いいたします。

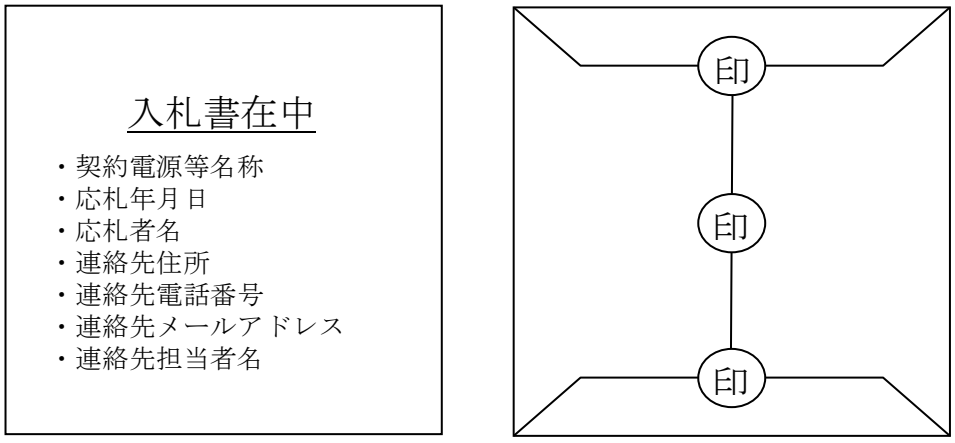
＜ご連絡先＞
中部電力パワーグリッド株式会社
ネットワークサービスセンター　広域運営グループ
「ブラックスタート募集」係

オ　入札を無効とするもの

・記名押印のないもの

・提出書類に不備もしくは虚偽の内容があったもの

・入札書を提出する場合の封筒は，下図のようにしてください。



（表）　　（裏）

※　添付書類カの印鑑証明書と同一の印章を押捺してください。

※　原則として，「JIS 角形 2 号」封筒を使用してください。

※ 入札内容の確認や落札案件の選定結果通知等に使用する連絡先を記載してください。

（２）入札書への添付書類（様式のあるものは，別添様式に従って作成してください。）

ア　応札者の概要（様式２）

イ　発電設備の仕様（様式３の１または様式３の２）

ウ 発電設備の主要運用値・起動停止条件（様式４の１または様式４の２および様式４の３）

エ　発電設備の運転実績（様式５）

オ　運用条件に係る事項（様式６）

カ　入札書に押捺した印章の印鑑証明

※ 入札書および添付書類において使用する言語は日本語，通貨は円貨としていただきます。

※ 添付書類イおよびウについて，非常用発電機等に該当する発電機に係る記入は不要です。

※ 添付書類（ア～オ）は，該当しないものがあっても，「該当しない」旨を明記し，通し番号を記入のうえ，すべてを提出してください。

（３）　郵送で応札する場合の留意事項

郵送で応札する場合，以下の点に留意の上，（１）ウに記載の提出場所へ郵送してください。なお，郵送の際は添付書類も含めて郵送してください。一部のみ郵送いただいた入札書は無効とさせていただきます。

ａ．入札書は封緘，封印をした入札書一式を別の封筒に入れ，郵送してください。封筒の表面に宛先に加えて「入札書在中」と記載してください。

ｂ．一般書留または簡易書留で郵送してください。

ｃ．郵送での応札の場合，募集期間中の必着となるように郵送してください。提出期限日の消印有効ではありませんのでご注意ください。

※「必着」とは，入札書一式が募集期間中の受付時間内に担当部署に到達していることを指します。

※　期限を過ぎて到着した入札書は受理しません。

※　郵便事故等により入札書が提出期限までに到達しなかった場合であっても異議を申し立てることはできません。

ｄ．郵送で応札する場合であっても事前に当社までご連絡をお願いします。

（４）その他留意事項

ア　追加資料提出

・当社は，必要に応じて追加資料の提出をお願いする場合があります。

イ　目的外利用

・提出資料および募集手続を通じて知り得た情報は，当社はブラックスタート機能契約以外の目的で使用いたしません。

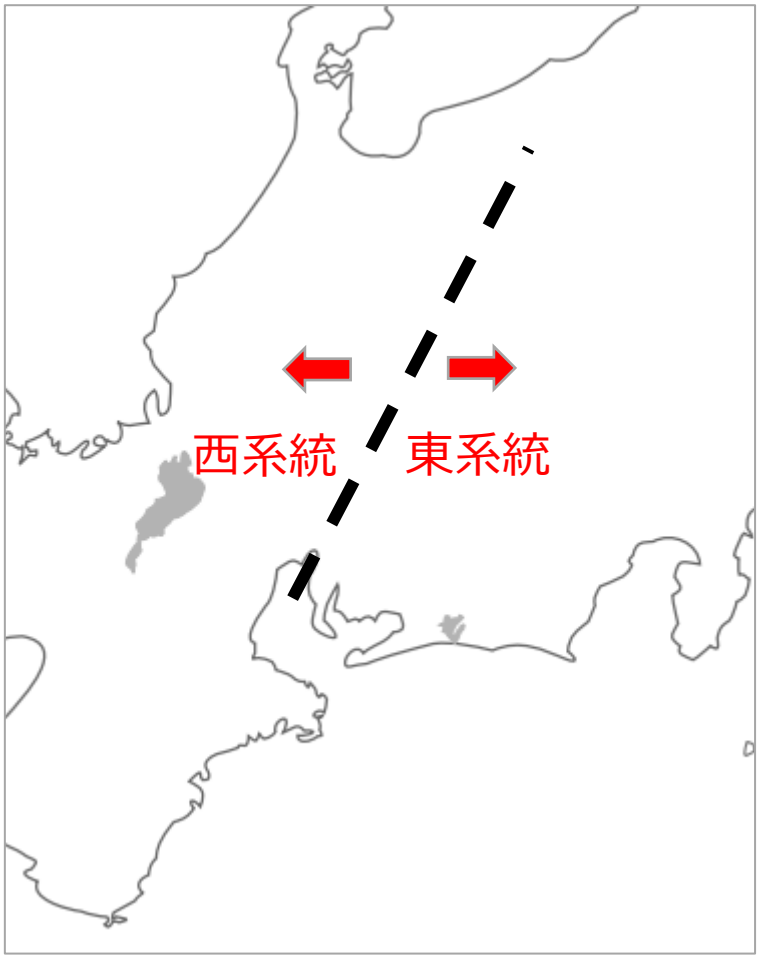
１１．ブラックスタート機能契約の締結

落札者は，２０２７年８月４日（水）までに，当社と協議のうえ，ブラックスタート機能契約を締結していただきます。

以上

別紙

全系統ブラックスタートの対象系統について



※実際には，地図上の位置ではなく，系統の接続点等により対象系統は判断されるため，詳細はお問合せください

中部電力パワーグリッド

提出様式

２０２６年〇〇月〇〇日

中部電力パワーグリッド株式会社

目　　次

（様式１）	入札申込書
（様式２）	応札者の概要
（様式３の１）	発電設備の仕様（火力発電所）・・・（記載例添付）
（様式３の２）	発電設備の仕様（水力発電所）・・・（記載例添付）
（様式４の１）	発電設備の主要運用値・起動停止条件・・・（記載例添付） － 火力発電所 －
（様式４の２）	発電設備の主要運用値・起動停止条件・・・（記載例添付） － 水力発電所 －
（様式４の３）	発電設備の主要運用値・起動停止条件・・・（記載例添付） － 最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値 －
（様式５）	発電設備の運転実績
（様式６）	運用条件に係る事項・・・（記載例添付）

（注）各様式の記載例の提出は不要です。

様式１

２０○○年　　月　　日

入　札　申　込　書

中部電力パワーグリッド株式会社
代表取締役　社長執行役員
清水　隆一　殿

会社名
発電所名
代表者氏名　　印

中部電力パワーグリッド株式会社が公表した「ブラックスタート機能募集要綱（２０３１年度向け)」を承認し，下記のとおり入札いたします。

記

１．ブラックスタート機能の種別	全系統ブラックスタート（東・西系統） 一部系統ブラックスタート（●●系統）
２．発電機等所在地および名称	
３．試送電機能を具備する主機の名称および送電端出力	●号機　●●●●●ｋＷ ●号機　●●●●●ｋＷ
４．試送電機能以外のブラックスタート機能を具備する主機の名称および送電端出力	●号機　●●●●●ｋＷ
５．非常用発電機等の種別と出力	圧油用水車（●台） 水車発電機（●●ｋＷ　●台） エンジン発電機（●●ｋＷ　●台）
６．入札価格	１式　　円
７．契約電源等を維持するために要する年間費用	円
８．期待利潤	円
９．ブラックスタート特有の機能維持に必要な最低限の費用相当額（最低保証額）	円
１０．想定期待容量	ｋＷ
１１．計量器の有無	有　・　申請中
１２．資本関係または人的関係等のある者との事前調整等の有無	有　・　無
１３．逸失利益相当額	円
＜必要電力（ｋＷ）＞	ｋＷ
＜必要電力量（ｋＷｈ）＞	ｋＷｈ
＜期待利潤の減少分＞	円
※内訳　契約電源	（　　円）
非契約電源	（　　円）

＜容量市場からの 想定期待利潤の減少分＞	円
※内訳　契約電源	（　　円）
非契約電源	（　　円）

（作成にあたっての留意点）

○ 「１．ブラックスタート機能の種別」において，入札を行う契約について，いずれかを○（マル）で囲んでください。

○ 「３．試送電機能を具備する主機の名称および送電端出力」において，技術検討の結果として，当社より事前に通知した数分の主機について記載してください。

○ 「４．試送電機能以外のブラックスタート機能を具備する主機の名称および送電端出力」には，試送電機能を具備している主機は記載しないでください。

○ 「６．入札価格」と「７．契約電源等を維持するために要する年間費用」と「８．期待利潤」および「９．ブラックスタート特有の機能維持に必要な最低限の費用相当額（最低保証額)」は募集要綱の「７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額」に定める価格としてください。「１０．想定期待容量」は，募集要綱の「７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額」に定めるとおり，電力広域的運営推進機関が公表する「容量市場メインオークション募集要綱（対象実需給年度：２０３０年度)」に規定する「期待容量」の算定方法に準じて算定した値としてください。

○ 「１０．想定期待容量」は，必要電力（ｋW)・必要電力量（ｋＷｈ）を控除する前の値を記載してください。

○ 「１２．資本関係または人的関係等のある者との事前調整等の有無」については，資本関係または人的関係等のある者との事前調整等を行なったにも関わらず，１の者のみによる応札またはジョイント・ベンチャー等としての応札としなかったことが判明した場合は，関連する全ての入札を無効といたします。

○ 「１３．逸失利益相当額」については，募集要綱の「７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額 (2)逸失利益相当額」の記載に従って算出してください。また，算出時に用いた「期待利潤の減少分」および「容量市場からの想定期待利潤の減少分」の金額も記載してください。なお，逸失利益相当額が生じない場合には「－（ハイフン)」を記載してください。加えて、算定の際に考慮した必要電力（ｋW)・必要電力量（ｋＷｈ）の値について記載してください。

○ 「１３．逸失利益相当額」における「期待利潤の減少分」および「容量市場からの想定期待利潤の減少分」については，募集要綱の「７．入札価格，逸失利益相当額および最低保証額」に定める減少分の金額を記載してください。

※ 契約電源と非契約電源にて上池を共有している場合は，契約電源と非契約電源の内訳を記載ください。

○ 「１３．逸失利益相当額」における「容量市場からの想定期待利潤の減少分」については，金額を記載した際は，電力広域的運営推進機関が公表する「募集要綱　様式2（期待容量等算定諸元一覧 2030 年度向け）安定電源（純揚水・蓄電池)」について，必要電力量（ｋＷｈ）の考慮前と考慮後の数値を入力したものをそれぞれ追加で提出してください。

○ 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

○ 計量器の有無および資本関係または人的関係等のある者との事前調整等の有無について，○（マル）で囲んでください。

様式２

応札者の概要

会　　社　　名	
業　　種	
本 社 所 在 地	
設 立 年 月 日	
資 本 金 （円）	
売 上 高 （円）	
総資産額（円）	
従業員数（人）	
事業税課税標準	収入割を含む　・　収入割を含まない

（作成にあたっての留意点）

○ 業種は，証券コード協議会の定める業種別分類（３３業種）に準拠してください。

○ 契約主体が，合弁会社の場合や落札後に設立する新会社である場合は，代表となる事業者に加えて関係する事業者についても，本様式を提出してください。また，あわせて会社概要を示した資料（パンフレット等）を添付してください。

○ 資本金，売上高，総資産額，従業員数は，直前の決算期末の値（単独決算ベース）を記載してください。なお，落札後に新会社等を設立する場合は，応札時点で予定している資本金等を可能な限り記入してください。

○ 応札者が適用する事業税課税標準について，○（マル）で囲んでください。

○ 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

様式３の１

発電設備の仕様（火力発電所）

１．発電所の所在地	（１）住　　所 （２）名　　称	４．発　電　機	（１）種類（形式） （２）定格容量（ｋＶＡ） （３）定格電圧（ｋＶ） （４）連続運転可能電圧（定格比）（%） （５）定格力率（%） （６）運転可能力率範囲（%） （７）周波数（Ｈｚ） （８）連続運転可能周波数（Ｈｚ） （９）機　数
２．営業運転開始年月日		５．熱効率（LHV），所内率	（１）発電端熱効率（%） （２）送電端熱効率（%） （３）所内率（%）
３．使　用　燃　料 ・貯　蔵　設　備　等	（１）種　類 （２）発熱量（ｋＪ／ｋｌまたはｋＪ／ｔ） （３）燃料貯蔵設備　総容量（ｋｌまたはｔ） タンク基数 備蓄日数	６．各機能の有無	（１）試送電機能　　有・無 （２）FCB 運転機能　　有・無 （３）ｶﾞﾊﾞﾅﾌﾘｰ運転機能　　有・無 （４）電圧調整機能　　有・無 （有または無のいずれか一方を〇で囲んでください）

（作成にあたっての留意点）

〇 発電機の性能（発電機容量，周波数調整機能に必要な信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

〇用紙の大きさは，日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

様式３の１

記載例

発電設備の仕様（火力発電所）

１．発電所の所在地	（１）住　　所　○○県○○郡○○町○○字○○番○ （２）名　　称　○○火力発電所○号発電機	４．発　電　機	（１）種類（形式） （２）定格容量　８００，０００ｋＶＡ （３）定格電圧　２５ｋＶ （４）連続運転可能電圧（定格比）　９７％～１０３％ （５）定格力率　９０％ （６）運転可能力率範囲　遅れ９０％～進み９５％ （７）周波数　５０Ｈｚ （８）連続運転可能周波数　４８．５Ｈｚ～５０．５Ｈｚ （９）機　数　１機
２．営業運転開始年月日	平成元年６月３０日	５．熱効率（LHV），所内率	（１）発電端熱効率　３８．８％ （２）送電端熱効率　３７．２％ （３）所内率　４．０％
３．使用燃料・貯蔵設備等	（１）種　類　ＬＮＧ （２）発熱量　４４．７×１０^{6}（ｋＪ／ｔ） （３）燃料貯蔵設備　総容量　１００．０千（ｋｌ） タンク基数　６基 備蓄日数　１０日分（１００％利用率）	６．各機能の有無	（１）試送電機能　（有）・無 （２）FCB 運転機能　有・（無） （３）ｶﾞﾊﾞﾅﾌﾘｰ運転機能　（有）・無 （４）電圧調整機能　（有）・無 （有または無のいずれか一方を○で囲んでください）

（作成にあたっての留意点）

○ 発電機の性能（発電機容量，周波数調整機能に必要な信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

○用紙の大きさは，日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

様式３の２

発電設備の仕様（水力発電所）

１．発電所の所在地	（１）住　　所 （２）名　　称	４．発　電　機	（１）種類（形式） （２）定格容量（ｋＶＡ） （３）定格電圧（ｋＶ） （４）連続運転可能電圧（定格比）（%） （５）定格力率（%） （６）周波数（Ｈｚ） （７）連続運転可能周波数（Ｈｚ） （８）機　数
２．営業運転開始年月日		５．所　内　率	
３．最大貯水容量		６．各機能の有無	（１）試送電機能　　有・無 （２）ポンプアップ　　有・無 （３）可変速運転機能　　有・無 （４）調相運転機能　　有・無 （５）ｶﾞﾊﾞﾅﾌﾘｰ運転機能　　有・無 （６）電圧調整機能　　有・無 （有または無のいずれか一方を○で囲んでください）

（作成にあたっての留意点）

○ 発電機の性能（発電機容量，周波数調整機能に必要な信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

○ 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

様式３の２

記載例

発電設備の仕様（水力発電所）

１．発電所の所在地	（１）住　　所　○○県○○市○○字○○番○ （２）名　　称　○○水力発電所○号発電機	４．発　電　機	（１）種類（形式）　揚水式 （２）定格容量　２７９，０００ｋＶＡ （３）定格電圧　１３．２ｋＶ （４）連続運転可能電圧（定格比）　９７％～１０３％ （５）定格力率　９０％ （６）周波数　５０Ｈｚ （７）連続運転可能周波数　４８．５Ｈｚ～５０．５Ｈｚ （８）機　数　６機
２．営業運転開始年月日	平成７年１１月３０日	５．所　内　率	４．０％
３．最大貯水容量	９，０００（$10^3 m^3$）	６．各機能の有無	（１）試送電機能　(有)・無 （２）ポンプアップ　有・(無) （３）可変速運転機能　有・(無) （４）調相運転機能　有・(無) （５）ｶﾞﾊﾞﾅﾌﾘｰ運転機能　(有)・無 （６）電圧調整機能　(有)・無 （有または無のいずれか一方を○で囲んでください）

（作成にあたっての留意点）

○ 発電機の性能（発電機容量，周波数調整機能に必要な信号を送受信する機能）を証明する書類を添付してください。

○ 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ３サイズとしてください。

発電設備の主要運用値・起動停止条件　－火力発電所－

発電機名	認可最大電力（MW）	起　動										停　止				その他制約	
		区分	停止時間（h）	メタル温度（℃）	指令～フル出力					給電運用		標準停止		冷却停止		運転可能時間	起動可能回数
					起動指令	ボイラ点火	ﾀｰﾋﾞﾝ起動	並列	定格出力	並列から	出力（MW）	定格出力～解列	解列時出力	定格出力～解列	解列時出力		

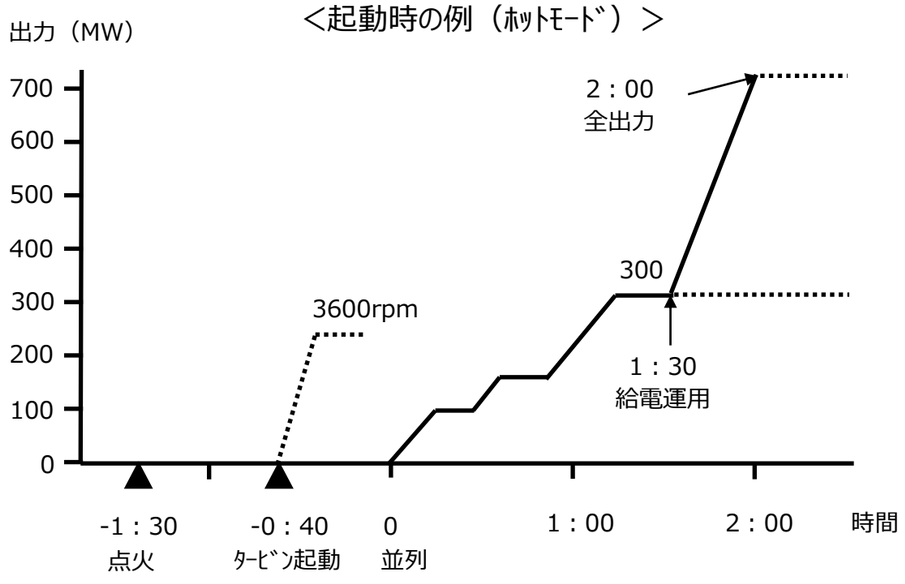
様式４の１

記載例

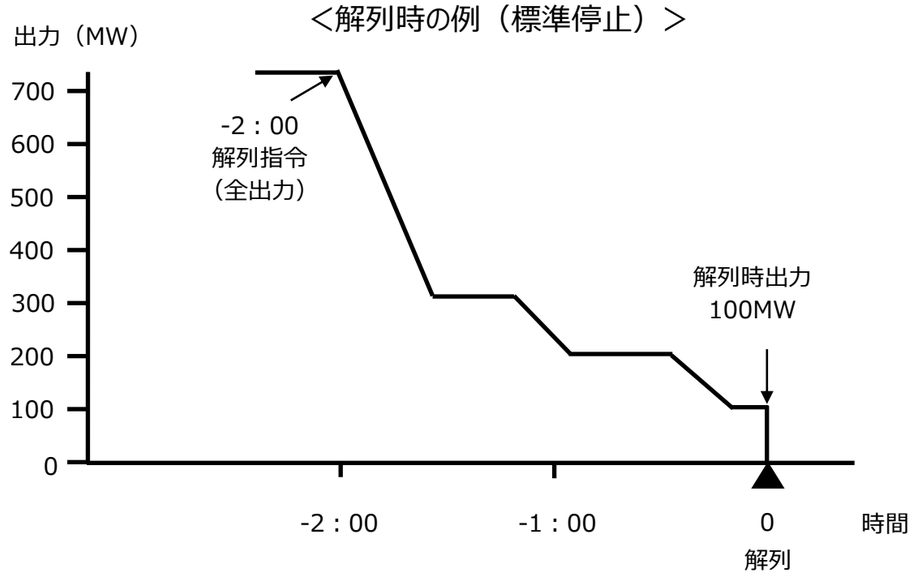
発電設備の主要運用値・起動停止条件　－火力発電所－

発電機名	認可最大電力（MW）	起　動										停　止				その他制約	
		区分	停止時間（h）	メタル温度（℃）	指令～フル出力					給電運用		標準停止		冷却停止		運転可能時間	起動可能回数
					起動指令	ボイラ点火	ﾀｰﾋﾞﾝ起動	並列	定格出力	並列から	出力（MW）	定格出力～解列	解列時出力	定格出力～解列	解列時出力		
●●発電所 ●号発電機	700.	ベリーホット	2h以内	400以上	-1H 30M	-1H	-30M	0	1H 30M	1H	300	2H	100	1H 30M	100	8000	200
		ホット	8h以内	400～350	-3H	-1H 30M	-40M	0	2H	1H 30M	300						
		・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・	・・・						

＜起動時の例（ﾎｯﾄﾓｰﾄﾞ）＞



＜解列時の例（標準停止）＞



発電設備の主要運用値・起動停止条件　－水力発電所－

発電機名	認可最大電力（MW）	最低出力（揚水動力）（MW）	使用水量（m^3/S）	発電・揚水容量				揚水総合効率（%）※	貯水池名称	貯水池容量（10^3m^3）	フル発電可能時間	８時間継続可能出力（MW）	揚発供給力（MW）	指令～並列時間（min）	
				号機	発電（MW）	揚水（MW）※	使用水量（m^3/S）							発電	揚水※

※揚水式水力発電所の場合に記入してください。

様式４の２

記載例

発電設備の主要運用値・起動停止条件　－水力発電所－

発電機名	認可最大電力（MW）	最低出力（揚水動力）（MW）	使用水量（m^3/S）	発電・揚水容量				揚水総合効率（%）※	貯水池名称	貯水池容量（10^3m^3）	フル発電可能時間	8時間継続可能出力（MW）	揚発供給力（MW）	指令～並列時間（min）	
				号機	発電（MW）	揚水（MW）※	使用水量（m^3/S）							発電	揚水※
●●発電所	1500	750 （1560）	375	1～6	250	260	62.5	73	上池 下池	9,000 9,000	6.7	1500	1500	3	8

※揚水式水力発電所の場合に記入してください。

発電設備の主要運用値・起動停止条件　－最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値－

発電機名	認可最大電力 （MW）	最低電力 （MW）	AFC 運転可能 最低出力 （MW）※	「最低出力～AFC 運転可能最低出力」の運用値※			備考
				出力 （MW）	運転継続 必要時間	出力変化速度 （MW/min）	

※ＡＦＣ機能を具備している場合に記入してください。

様式４の３

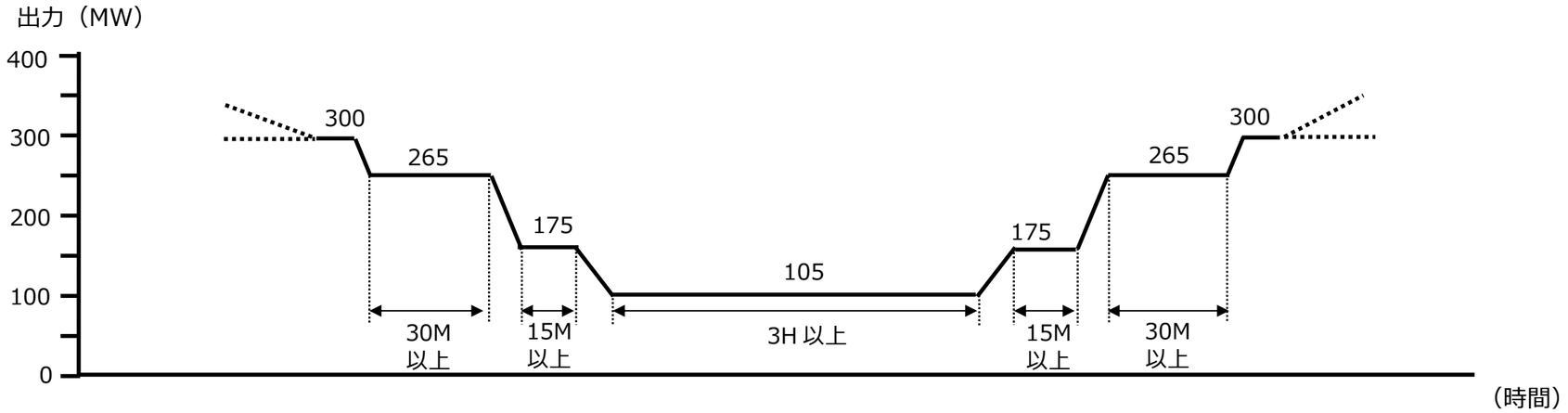
記載例

発電設備の主要運用値・起動停止条件　－最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値－

発電機名	認可最大電力（MW）	最低電力（MW）	AFC 運転可能最低出力（MW）※	「最低出力～AFC 運転可能最低出力」の運用値※			備考
				出力（MW）	運転継続必要時間	出力変化速度（MW/min）	
●●発電所 ●号発電機	700	105	300	300	－	（300～265） 21	「105MW」からの出力上昇時は，出力上昇の○時間までに予告要
				265	30M 以上		
				175	15M 以上	（265～175） 21	
				105	3H 以上	（175～105） 10	

※ＡＦＣ機能を具備している場合に記入してください。

＜最低出力～ＡＦＣ運転可能最低出力間の運用値（例）＞



様式５

発電設備の運転実績

会 社 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

発電所名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

○ ブラックスタート機能を提供する発電機の運転実績（2025 年度実績）について記入してください。

発　電　機　名	
出　　力	キロワット
営業使用開始年月	年　　月
運　転　年　数	年　　ヶ月（　　年　　月時点）
総発電電力量	キロワット時（　　年　　月時点）
設備利用率	%

○ 定期検査の実績について記入してください。

（作成にあたっての留意点）

○　火力発電設備の運転実績または火力発電設備の運転実績を有する者からの技術的支援については，詳細に説明していただくことがあります。

○　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

様式６

運用条件に係る事項

会 社 名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿
発電所名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

連続運転可能時間	
計画停止の時期および期間等	
運転管理体制	
給電指令対応システム	
その他	

（作成にあたっての留意点）

○ 用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４サイズとしてください。

様式６

記載例

運用条件に係る事項

会 社 名　　○○株式会社

発電所名　　△△発電所

連続運転可能時間	※連続運転可能時間に制限がある場合には，連続運転可能時間とその理由を記入してください。
計画停止の時期および期間等	※提供期間内における定期検査等の実施時期や，その期間を記入してください。また，実施時期を限定する必要がある場合は，その旨についても記入してください。 ※定期検査等の他に，設備都合による作業停止や出力抑制が必要な場合は，実施インターバル，期間および内容について記入してください。 ※現時点で確からしい計画がない場合，未定と記載し，２０２９年９月末までに提供期間内における定期検査等の実施時期や，その期間を連絡いただきます。
運転管理体制	※当社中央給電指令所，制御所等からの給電指令に対応するための運転管理体制（運転要員，緊急連絡体制等）について記入してください。
給電指令対応システム	※当社中央給電指令所，制御所等からの給電指令に対応するためのシステム概要について記入してください。（信号受信装置から発電設備の出力制御回路までの連携方法等）
その他	※その他，起動や解列にかかる制約（同一発電所における同時起動制約），条例による制約等，特記すべき運用条件等がありましたら，ご記入ください。

（作成にあたっての留意点）

○　用紙の大きさは，日本工業規格Ａ４サイズとしてください。